

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	02	0402	健康教育相談事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-6	健康づくりの推進			
	施策	1	健康づくりの支援			
目的	市民の健康の保持増進のため、各種健康講座等の実施により、健康づくりの意識啓発を図る。					
対象	市民全般					
意図	健康アップ講座等を通して、市民の健康づくりの意識啓発を図る。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<p>○脳卒中予防対策…医師会等の協力のもと健康アップ講座や、地域や団体からの受託健康講座の実施。 ナトカリ計（尿中塩分測定器）、自動血圧計、減塩計を使用した「健康講座」の実施 ○健診未受診者への受診勧奨の実施。 ○健診結果の要注意者に対する個別指導の実施。 ○市民自身の健康管理のための健康手帳の交付。 ○コンビニ等への自殺予防啓発ポスターの掲示。 ○健康づくりフロンティア事業で連携している東北大学の協力のもと、系統的な健康づくりの普及啓発を実施。</p>						
市民参画の有無 []						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	コンビニ等を利用した普及啓発	枚	計画	8,000	8,000	
			実績	10,300	10,000	
②	各種健康教育の開催	回	計画	100	100	
			実績	171	126	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	自分自身が心身ともに健康であると思う市民の割合	%	目標	72.0	72.0	
			実績	60.7	58.7	
②		%	目標			
			実績			
③		%	目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○ 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
社会情勢や高齢化の進展に伴い「心身ともに健康であると思う市民の割合」は減少していくと推察されるが、健康アップ講座等の事業を介し健康づくり意識の普及啓発に努め、減少率の抑制を目指す。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	各種の健康づくり事業の展開により、健康づくりの意識啓発につながっている。
有効性	<input type="radio"/> 妥当である	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 妥当でない	
効果性	成果の向上余地	広報誌やFM等による情報発信を始め、地域から職域まで広く周知を図り、普及啓発に努めることで意識向上に努める。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	
<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
公平性	事業費・人件費の削減余地	看護師等を臨時雇用、日々雇用で賄い人件費を抑えており、削減の余地はない。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある	
<input type="radio"/> どちらも削減余地がない		
公平性	受益と負担の適正化余地	市町村が行う必須事業として、広く市民の参加を促すものであり、参加者の費用負担は求めない。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある	
<input type="radio"/> 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
医師会等の協力のもと実施した「健康アップ講座」及び「保健大学」は、参加者が増加し集団へのアプローチとして成果を得た。加えて、生活習慣病の発症予防対策として、健診結果の要注意者に対する個別支援を強化した。 脳卒中等の生活習慣病は、中高年層からの発症予防対策とともに、若年層からの取り組みが重要であり、今後も、地域や関係機関と連携しながら予防対策に努めていく。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	02	0402	健康教育相談事業

単位：千円

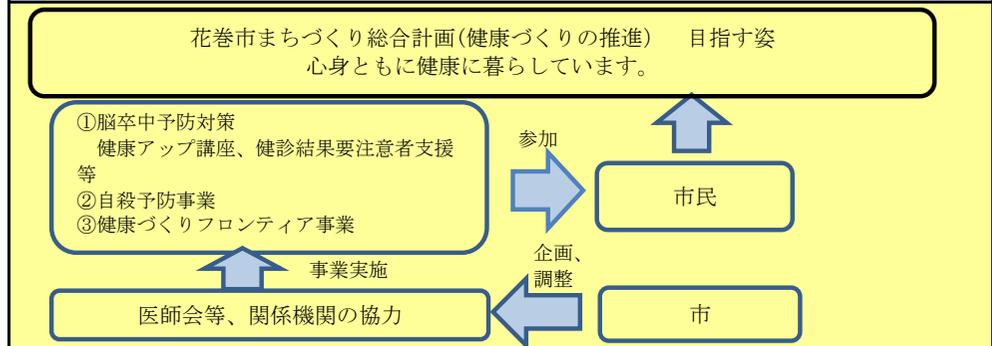
		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		5,400	5,520		120
財源 内訳	国・県	1,901	1,290		△ 611
	地方債	600	600		
	その他	126	198		72
	一般財源	2,773	3,432		659

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部重点施策における目標			
健康づくりへの支援と地域医療を充実し健康づくりを推進します。			
事業開始の背景・経緯			
『健康増進法』に基づく市町村の責務であり、同時に、市民の健康づくり推進を目的とする『健康はなまき21プラン』の推進のため開始。			
事業概要			
○脳卒中予防対策…医師会等の協力のもと健康アップ講座や、地域や団体からの受託健康講座の実施。 ナトカリ計（尿中塩分測定器）、自動血圧計、減塩計を使用した「健康講座」の実施 ○健診未受診者への受診勧奨の実施。 ○健診結果の要注意者に対する個別指導の実施。 ○市民自身の健康管理のための健康手帳の交付。 ○コンビニ等への自殺予防啓発ポスターの掲示。 ○健康づくりフロンティア事業で連携している東北大学の協力のもと、系統的な健康づくりの普及啓発を実施。			
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等			
平成28年度で開始から30周年を迎える健康づくりフロンティア事業に関しては、市政懇談会において継続への要望が出されていることから、健康づくり支援の一環として今後も実施していく必要があると考える。			

担当部署 部名 健康福祉部 課名 健康づくり課 担当係長 久保田和子 内線 390

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- 1 脳卒中予防対策事業 H27 3,094千円（前年度比 +367）**
 [新規]・広報「はなまき」に脳卒中予防特集を掲載し、普及啓発を図る。
 ・「上げないぞ血圧！講座」（ナトカリ計・自動血圧計を用いた健康講座）の実施。
 ・「地域丸ごと血圧低下講習会」（健康アップ講座に自動血圧計・減塩計導入）の実施。
 ・健診の未受診に対する受診勧奨を文書、電話、訪問指導等により実施。
 ・健診の結果等の要指導者への訪問指導。

 [継続]・健康アップ講座、健康相談等。
 ・健康運動教室…運動習慣の普及啓発を目的とし実施。
 ・健康手帳の交付。

 主経費：賃金、講師報償費、消耗品費 等
- 2 自殺予防対策事業 H27 722千円（前年度比 ▲17）**
 コンビニ等へのチラシ配置・ポスター掲示により若年層への自殺予防の普及啓発を図る。
 ストレスチェック「こころの体温計」の普及啓発、職域への『こころの健康づくり講座』実施
 市役所窓口対応職員に対しゲートキーパー養成講座を実施。
 主経費：講師報償費、消耗品費 等
- 3 健康づくりフロンティア事業 H27 737千円（前年度比 ▲29）**
 東北大学の協力のもと、家庭血圧等を実施し健康づくりを推進する。
 大迫地域を4地区に分けて、家庭血圧測定、MR I 検査等を実施し保健指導を実施。
 （平成27年度 外川目地区）
 主経費：賃金、消耗品費、耐糖能検査委託料 等
- 4 保健大学 H27 967千円（前年度比 ▲16）**
 花巻市医師会の協力のもと、保健医療情報の普及啓発を目的とする市民向け講座を実施。
 主経費：委託料、消耗品費 等